



福岡医発第2650号(地)
平成30年1月23日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

平成29年度(第46回)福岡県医師会精度管理調査結果研修会の開催について(ご案内)

寒冷の候 貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

臨床検査は、いつ・どこで受けても同じ検査項目なら同じ値が出なければなりません。本会におきましては、毎年、精度管理調査を実施し、その結果をもとに研修会を実施して参りました。特に、平成8年度より県内検査の検査値の標準化に努めているところです。

つきましては、本会精度管理調査のあり方と、調査結果を中心とした各施設それぞれの問題点の解明とその解決法、更には県下の検査値統一化を目指しております本会の姿勢等につきましてもご理解を賜りたく、平成29年度(第46回)精度管理調査への参加の有無にかかわらず、各施設長並びに臨床検査技師各位が多数この研修会にご参加下さいますよう貴職よりご高配をお願いいたします。

なお、

- 1) 今年度の精度管理調査参加施設並びに病院には、本会より直接ご案内申し上げておりますが、その他施設の貴会会員の御出席につきまして、別添用紙によりお取り纏めの上、FAX(092-411-6858)にて**平成30年2月16日(金)**までにご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 2) 平成13年度より福岡県医師会臨床検査精度管理調査を、県内施設一括して九州臨床検査精度管理調査に参加して行うことになり、研修会当日の午前中は九州臨床検査精度管理研究会発表会が開催されます。九州臨床検査精度管理調査参加施設には、九州臨床検査精度管理研究会事務局より案内が送付されますが、その他、発表会出席をご希望の場合は、同事務局(FAX/092-642-5772、secretariat@kyushuqc.com)に直接お問い合わせください。
- 3) 今年度の精度管理調査に参加されていない施設は、参加費一人5,000円となっておりますので、午後からの受付にてお支払いをお願いいたします。
- 4) 専用の駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用願います。
- 5) 本会では、平成26年7月より全国に先駆け、日本臨床検査標準協議会(JCCLS)の「共用基準範囲」に準ずる形で「福岡県医師会共通基準範囲」の見直しを行っております。従って全国に通用する検査値になっていますので、是非、別紙「福岡県医師会共通基準範囲」をご使用いただきますようご高配の程お願い申し上げます。

小郡三井医師会より

臨床検査担当理事 古川哲也
会長 白石恒明

小郡三井医師会宛（締切2月9日（金））

F A X 7 3 - 1 5 5 9

平成 29 年度(第 46 回)福岡県医師会精度管理調査結果研修会について

△と き 平成 30 年 3 月 4 日（日）14：00～16：30

△ところ 九州大学百年講堂 （九州大学病院内）

出席者氏名	医療機関名

平成 29 年度（第 46 回）福岡県医師会臨床検査精度管理調査結果研修会

△と き 平成 30 年 3 月 4 日（日）14：00～16：30

△ところ 九州大学百年講堂 Tel 092-642-6030

福岡市東区馬出 3 丁目 1－1 九州大学病院内

1. 開 会

2. 挨拶

3. 教育講演（14：05～14：50） ※質疑応答 5 分含む

「人工知能と医療：日本医療の将来像」

講 師： 東京大学医科学研究所 国際先端医療社会連携研究部門 特任准教授

湯地 晃一郎 先生

座 長：九州大学大学院医学研究院臨床検査医学教授 康 東 天 先生

(休憩 10 分)

4. 精度管理調査報告（15：00～16：30）

座 長：福岡県医師会臨床検査精度管理委員会委員長

九州大学大学院医学研究院臨床検査医学教授 康 東 天 先生

(1) トピックス（10 分）

「分析前後段階における精度管理—preanalytical factors について—」

福岡大学病院臨床検査部

井 本 祐 司

(2) 解析報告（各 10 分）

- | | | |
|-----------------------|------------------|---------|
| 1) 「試料梱包の改善について（CBC）」 | 九州大学病院検査部 | 堀 田 多恵子 |
| 2) 「生化学総括・総合評価について」 | 嘉麻赤十字病院検査部 | 吉 田 重 人 |
| 3) 「感染症について」 | 久留米大学医療センター臨床検査室 | 森 下 ゆ き |
| 4) 「輸血検査について」 | 浜の町病院臨床検査部 | 太 田 り か |
| 5) 「凝固について」 | 九州大学病院検査部 | 藤 本 明 子 |
| 6) 「ホルモン・腫瘍マーカー等について」 | 久留米大学病院臨床検査部 | 早 田 峰 子 |
| 7) 「尿について」 | 福岡大学筑紫病院臨床検査部 | 八 戸 雅 孝 |

(3) 質疑応答及び総括（10 分）

5. 閉 会

福岡県医師会 共通基準範囲 改定後

項目名称	項目	単位	共用基準範囲			臨床判断値		
				下限	上限	下限	上限	
白血球数	WBC	10 ³ /μL		3.3	8.6			
赤血球数	RBC	10 ⁶ /μL	M	4.35	5.55			
			F	3.86	4.92			
ヘモグロビン	Hb	g/dL	M	13.7	16.8			
			F	11.6	14.8			
ヘマトクリット	Ht	%	M	40.7	50.1			
			F	35.1	44.4			
平均赤血球容積	MCV	fL		83.6	98.2			
平均赤血球血色素量	MCH	pg		27.5	33.2			
平均赤血球血色素濃度	MCHC	g/dL		31.7	35.3			
血小板数	PLT	10 ³ /μL		158	348			
総蛋白	TP	g/dL		6.6	8.1			
アルブミン	ALB	g/dL		4.1	5.1			
グロブリン	GLB	g/dL		2.2	3.4			
アルブミン、グロブリン比	A/G			1.32	2.23			
尿素窒素	UN	mg/dL		8	20			
クレアチニン	CRE	mg/dL	M	0.65	1.07			
			F	0.46	0.79			
尿酸	UA	mg/dL	M	3.7	7.8	7.0		日本プリン・ピリミジン代謝学会 会コンセンサスカンファレンス (1996)
			F	2.6	5.5			
ナトリウム	Na	mmol/L		138	145			
カリウム	K	mmol/L		3.6	4.8			
クロール	Cl	mmol/L		101	108			
カルシウム	Ca	mg/dL		8.8	10.1			
無機リン	IP	mg/dL		2.7	4.6			
グルコース	GLU	mg/dL		73	109	109		糖尿病診療ガイドライン2013
中性脂肪	TG	mg/dL	M	40	234		149	動脈硬化性疾患診療ガイドライン2012年版
			F	30	117			
総コレステロール	TC	mg/dL		142	248		219	動脈硬化性疾患診療ガイドライン2007年版
HDL-コレステロール	HDL-C	mg/dL	M	38	90	40		動脈硬化性疾患診療ガイドライン2012年版
			F	48	103			
LDL-コレステロール	LDL-C	mg/dL		65	163		139	
総ビリルビン	TB	mg/dL		0.4	1.5		1.2	専門医との協議による
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST	U/L		13	30			
アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	U/L	M	10	42		30	専門医との協議による
			F	7	23			
乳酸脱水素酵素	LD	U/L		124	222			
アルカリホスファターゼ	ALP	U/L		106	322			
γ-グルタミールトランスペプチダーゼ	γGT	U/L	M	13	64			
			F	9	32			
コリンエステラーゼ	ChE	U/L	M	240	486			
			F	201	421			
アミラーゼ	AMY	U/L		44	132			
クレアチン・ホスホキナーゼ	CK	U/L	M	59	248			
			F	41	153			
C反応性蛋白	CRP	mg/dL		0.00	0.14			
鉄	Fe	μg/dL		40	188			
免疫グロブリン	IgG	mg/dL		861	1747			
免疫グロブリン	IgA	mg/dL		93	393			
免疫グロブリン	IgM	mg/dL	M	33	183			
			F	50	269			
補体蛋白	C3	mg/dL		73	138			
補体蛋白	C4	mg/dL		11	31			
ヘモグロビンA1c	HbA1c	%(NGSP)		4.9	6.0			